

## 名 誉 会 員 推 挙

### 竹 田 清 二 殿

現 職	非営利活動法人 P C 建築技術支援センター 副理事長 株式会社向山工場 技術顧問
略 歴	1965年3月 大阪大学 工学部構築工学科卒業 1965年4月 不動建設株式会社 入社 1967年3月 京都大学六車研究室国内留学 (1年間) 1992年6月 フドウ建研株式会社 取締役技術開発部部長兼東京本店設計部長 1995年6月 取締役東京本店副本店長兼技術本部技術統括部長 1998年6月 不動建設株式会社 監査役 (～2001年6月) 2001年6月 フドウ建研株式会社 常務取締役技営総本部副本部長 (～2002年6月) 2002年10月 昭和コンクリート工業株式会社 建築東京支店顧問 (～2021年3月)
本工学会歴	正会員 (1972年8月より現在に至る) 高強度鉄筋緊張 P R C の研究と設計指針の作成委員会幹事 (2014年～2019年)
主な表彰歴	2007年 プレストレスト・コンクリート建設業協会 功労賞受賞 2009年 プレストレストコンクリート技術協会賞 (論文部門) 受賞 2012年 P C I 論文賞 (Robert J. Lyman Award) 受賞
主な業績	日本建築学会「P C 合成床板設計施工指針・同解説 (1994年), 同「P C 設計施工指針・同解説 (改訂版) (1998年), P C 建設業協会「P C 建築マニュアル」(1989年), 「高強度鉄筋緊張 P R C 構造設計指針 (案)・同解説」(2019年) の委員参画

### 丸 山 久 一 殿

現 職	長岡技術科学大学 名誉教授
略 歴	1972年3月 東京大学工学部土木工学科卒業 1974年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了 1979年2月 長岡技術科学大学 講師 1979年5月 テキサス大学大学院博士課程修了 (Ph. D) 1980年4月 長岡技術科学大学工学部 助教授 1994年4月 長岡技術科学大学工学部 教授 2003年4月 長岡技術科学大学理事・副学長 (～2009年3月) 土木学会コンクリート委員会委員長 (～2007年3月) 2014年3月 長岡技術科学大学定年退職, 同名誉教授 2014年4月 長岡技術科学大学 特任教授 (～2017年3月) 2016年6月 日本コンクリート工学会会長 (～2018年6月)
本工学会歴	正会員 (1994年3月より現在に至る) P C 技士試験委員会委員 (1993年より10年間), 北陸地区 P C 特別技術講習会支援
主な表彰歴	1993年 プレストレストコンクリート技術協会賞 (論文部門) 受賞 2013年 土木学会 吉田賞 (研究業績部門) 受賞 2018年 土木学会 功績賞受賞
主な業績	連続繊維を用いた外ケーブル工法の開発研究 (1990年～1993年) P C 構造への脱塩工法の適用に関する研究 (2002年～2004年) 鋼少数主桁橋長支間場所打ち P C 床版ひび割れ対策の技術指導 (2002年～2005年)

## 脇 本 優 殿

現職 株式会社構研エンジニアリング 橋梁部プロジェクトリーダー  
略歴 1973年3月 北見工業大学土木工学科卒業  
1973年4月 ピー・エス・コンクリート株式会社入社(現㈱ピーエス三菱)  
2001年4月 東北支店土木技術部長  
2003年4月 東京土木支店P C事業部技術部長  
2003年10月 本社技術本部技術推進部長  
2006年12月 本社管理本部品質管理部長  
2008年1月 社団法人プレストレストコンクリート技術協会出向  
(現公益社団法人プレストレストコンクリート工学会)  
2008年6月 同 専務理事・事務局長  
2010年8月 株式会社構研エンジニアリング入社  
本工学会歴 正会員 (1973年6月より現在に至る)  
専務理事・事務局長 (2008年6月～2010年5月)  
新潟県中越地震災害状況調査委員会橋梁WG主査 (2004年～2005年)  
主な業績 P C技術の普及と発展 (プレストレスト・コンクリート建設業協会北海道支部,  
東北支部, 本部技術部会長歴任), 常磐自動車道十王川橋(V脚ラーメン橋)設計主任  
1984年, 北海道横断自動車道小林川橋他11橋 (ショートライン工場製作セグメント) 設計監理技術者1992年, 本工学会の運営発展に貢献

(五十音順)